



ガーゴイルは、アメリカ車をドメインとしながら、ヨーロッパ車も数多く仕入れるなど、幅広い顧客に対応する品揃えが嬉しいショップ。間口を広くオープンにしたショールームは、常時20台からの展示がされており、見やすい雰囲気が特長。また、代表の南條哲郎氏もショールームのイメージと同じく、話しやすい人柄が魅力だ。現役サーファーというだけあって、店内にはロングボードの売物まである。基本的にはノーマルというか、店長独自のこだわりで、そのクルマのキャラクターを活かした状態での販売をポリシーとする。もっとも、顧客の要望には柔軟に応じてくれるので、カスタマイズの相談なども気軽にしてほしいという。なお、敷地内にファクトリーも併設するため、購入後のメンテナンスも心配ない。

Text: 石橋幸樹 / Photo: 五條伴好

有限会社 ガーゴイル
 神奈川県横浜市瀬谷区目黒町7-25
 Tel. 045-924-0444
<http://www.gargoyle-car.com>

専門ショップで見つけた Ram Van & Regal Wagon

'00 ダッジ・ラムバン ショーティ

207.9万円

ガーゴイルは、ダッジバンの売物としてはわりとレアなショーティを、36ページの試乗車の他にも1台ラインナップしていた。試乗したモデルとほぼ同じ仕様ながら、オーバーフェンダーを追加したことで印象がだいぶ異なるようだ。また、社外品のアルミホイールながらフェンダーと品良くマッチしている。ダッジバンに共通することだが、ごくシンプルな装備なので、手に入れてからカーAVやナビの追加など、自分で手が加えられる楽しみが残るだろう。



'02 ダッジ・ラムバン ミディアム

239.4万円

こちらはショーティよりも全長が長いダッジバンで、国内では「ミディアム」と呼ばれているモデル(アメリカ本土では「レギュラー」)。延ばされた全長は、主にリアカーゴスペースに充てられ、高い天井とあまってより多くの積載が可能となっている。もちろん、コンディションも上々で、ちょっと広い駐車スペース用意できるなら、すぐさま購入可能だ。なお、ガーゴイルのオリジナルシートはご覧の通りフルフラットにリクラインできる。



'02 ダッジ・ラムバン ミディアム

239.4万円

ミディアムの2台目もまた、ガーゴイルの売物らしくきれいにノーマル状態を保持したもの。ホワイトのボディにも色あせなどはおろか、キズやへこみも皆無といった状態だ。インテリアも外装と同様、最高のコンディションにプリベアされており、商用車の面影はまったく感じられず、程よい質実剛健さがにじみ出る。ノーマルを良しとするガーゴイルながら、カスタムを希望する顧客のニーズに応えることも得意としているから頼もしい。



'96 ビュイック・リーガル エステートワゴン

81.9万円

バーガンディのリーガル・ワゴンは通常であれば内装も同色のベロアになるが、こちらの売物はタンのベロアという珍しいもの。また、写真にはないがガーゴイルのオリジナルパーツとして、ウッドとレザーのコンビステアリングもあらかじめ装着済み。ノーマル品を加工して使用するため、エアバッグにも完璧に対応している。クルマそのもののコンディションもいい状態で、アメリカ車入門とか、ワゴン入門としては最適な1台ではないだろうか。



専門ショップで見つけた VW Type II & Type III



32ページと48ページの試乗車は、横浜市の「TOAインターナショナル」にお借りした。ここは極上モノのタイプIIとタイプIIIを主に扱う専門店。工場だった建物を改造した店舗はとてもきれいで、エンターテインメントな雰囲気が漂っている。

お店のポリシーは、「ベースの状態のいいものを整備して、当たり前に乗れるクルマにして売ること」(向井社長)。これまで19年間、主にアメリカで程度のいい個体を買付け、徹底的に整備して販売してきた。もちろんカスタマイズにも応えてくれる。

「古いクルマだけど、構造は単純だから、年に1回メンテナンスに入れてくれれば大丈夫。車検整備代も、平均10万円くらいかな」ということで、いい個体を買えば、後はラクに楽しめそう。

Text：清水草一／Photo：松本高好

TOAインターナショナル株式会社
神奈川県横浜市鶴見区朝日町2-100-1
Tel. 045-501-0797
<http://www.toajp.com>

'66タイプIIバス
11ウィンドー
218万円

アーリーバスとしてはかなりお手頃価格。シートや天井などインテリアは新品に張り替えてあるが、オリジナルペイントのボディは各所に薄くサビが浮いていて、それがかえってイイ味を出している。「こういうのが好きな人もいるので、あえてこのまま」で売る予定とのこと。こういった表面だけのサビは、カラッとした気候のアメリカ西海岸でできるもので、サビのうちに入らないそうだ。日本や欧州なら、先にボディが腐ってしまう。



'66タイプII
サンダイアル・キャンパー
243万円

ウエストファリアと勢力を二分するキャンピングカーが、このサンダイアルキャンパー。オリジナルペイントなのにサビがほとんどない希少な個体だ(バンパーのみペイント済み)。エンジンもオリジナルの1500cc。ルーフラックがイカしてる。フロントシートとドアパネルなどは張り替えてあるが、後部のキャンパー部分はオリジナル。非常にキレイだし、ウエストファリアとはまた違った趣があってとてもステキだ。



'65タイプIIバス
11ウィンドー
255万円

アーリーバスの「内外装仕上げ済み」バージョン。ニューペイントはもちろんのこと、ヘッドライト、レンズ類、タイヤ、ホイールキャップ、ラバー類などすべてニュー。タイプIIは世界中で人気があるので、あらゆる部品の新品がいくらでも手に入り、こういう一見新車？みたいな個体を作り上げることもできるのだ。TOAのようなノウハウのあるショップなら、ボディの腐りを含めなんとでもなるので、あまりトラブルを怖がる必要はない。



'69タイプIII
バリエント AT
198万円

希少な3段AT仕様。タイプIIIにはトルコンAT仕様が存在し、走りもいいのだ。加えて、純正スチールスライディンググループもまた珍しい装備である。パールホワイトのボディはニューペイント。インテリアは全部張り替え。ラバー類も新品に交換済み。ステンレスボディモールやダッシュパットも新品だ。ホイールのみ社外のアルミだが、オリジナル形状に戻すこともできる。ATでラクにカッコよく乗りたい人はお早めどうぞ。

